

いんざい

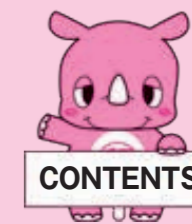
No.202

2022. 11. 15

議会だより



印旛沼の夕やけ



いんざい君© 2011 Inzai City

P 2～ 9月定例会
補正予算の審査
予算審査常任委員会

P 4～ 決算主要事業・
決算の審査
決算審査特別委員会

P 6～ 一般質問
会派代表質問6人
個人質問12人

P19～ 各常任委員会の審査
総務企画常任委員会
文教福祉常任委員会
建設経済常任委員会

P22 議案と審議結果一覧

P23 請願・陳情
行政視察受入れ
編集後記

P24 市民の声
次回定例会のお知らせ

9月定例会

9月定例会は、9月1日から9月30日までの30日間、開催されました。

市長提出案件は議案13件、認定6件、報告3件、同意3件、諮問2件で、委員会提出案件は発委案2件、その他に請願2件についてそれぞれ慎重な審議が行われました。

審議結果は、22ページに掲載しています。

市独自の事業で市民生活を支援

印西市物価高騰対策支援プロジェクト

**1 市民1人当たり
5,000円を給付します**
物価高騰対策臨時特別給付金事業
6億3,717万1千円

物価高騰の影響を受けている家計を支援します

2 保護者の負担を増やさない

給食賄材料費高騰対策事業 3,812万7千円

安定した給食を提供するため、給食用材料費を増額します

3 市内路線バス・タクシー事業者を支援

路線バス運行対策事業 863万円

燃料価格高騰の影響に対応します



予算
審査

予算審査常任委員会は、9月16日に一般会計補正予算第4号、国民健康保険特別会計補正予算第1号と介護保険特別会計補正予算第1号、9月30日に一般会計補正予算第5号の審査を行い、すべて原案のとおり可決しました。

令和4年度補正予算

一般会計（第4号）

小中学校管理運営に要する経費 1億5,991万6千円
次年度学級増に伴う備品整備、電気料金の増額

小中学校ICT環境整備事業 3,793万円
次年度の児童生徒増に伴う教育用パソコン等の整備

交通安全対策施設整備事業 1億円
夜間や雨天時等の交通安全を図るため、道路区画線等の補修工事の増額

民間保育園の助成に関する経費 1,960万円
保育所等の新型コロナウイルス感染症対策費用

職員人件費等 △1億4,708万4千円
現員現給による減額

予備費 5,000万円
物価高騰・災害等に直ちに対応するため増額

債務負担行為の追加及び変更

イングリッシュアカデミージャンプ（追加） 1,136万5千円以内
（中学生海外派遣研修）業務委託【令和4年度～令和5年度 限度額】

外国語指導助手派遣業務委託（追加） 2億77万2千円以内
【令和4年度～令和7年度 限度額】

学力状況調査業務委託（追加） 2,541万5千円以内
【令和4年度～令和7年度 限度額】

牧の原小学校増築校舎（2期）（変更） 10億9,824万円以内
令和4年度～令和12年度 6億7,914万円以内 → 10億9,824万円以内
【期間を令和13年度まで1年間延長及び使用料・賃借料限度額の変更】

地方債の増額補正 6,930万円 → 1億2,610万円
（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業 限度額を変更

国民健康保険特別会計（第1号）

新型コロナウイルス感染症に伴う被保険者に対する傷病手当金の増額 86万7千円

介護保険特別会計（第1号）

令和3年度決算剰余金の財政調整基金への積み立て 1億2,826万4千円

一般会計（第5号）

電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援金 3億7,510万3千円
特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯・家計急変世帯に対し、1世帯当たり5万円を支給

令和3年度 決算審査 主要事業

こんな事業を実施しました。

令和3年度一般会計・特別会計・企業会計合わせて6会計について、決算審査特別委員会を設置し、9月12日から15日までの4日間で審査を行いました。
審査の結果、6会計すべての決算を認定すべきものと決定しました。その質疑の一部を要約して掲載します。

一般会計

問 実質収支（決算剰余金）36億円は大きすぎるのではないか。
答 コロナ関連でやむを得ないものもあり、入札執行残などさまざまな要因に基づくものである。

問 スワン号の運行について、バス停まで遠い人への対応の検討はしたのか。
答 バス停まで遠いと言う意見があり、令和5年度以降ドアツードアでの実施を準備している。



問 マイナンバーカードの交付率はどうか。
答 国全体では43・3%、印西市は46・9%。
問 窓口業務委託費はいくらか。
答 国保年金課の窓口業務委託費は3284万7870円。市民課は7448万円。中央駅前出張所は3952万5200円。



問 健康講演会の目標が150人とあるが、実績は650人だ。その評価は。
答 コロナ禍で講演会は中止したが、出前講座で22回、199名の参加。後期高齢者の健康教育を32回、4511名の参加で合わせて650名の実績だ。



問 地域医療推進事業の不用額3千万円の理由は。
答 日本医科大学千葉北総病院の救急事業がコロナの影響で増収となり、赤字とならない見込みで、補助金は赤字への補助金となるため、病院から辞退の申し出が有り、未執行となった。



問 ひとり親家庭等生活向上事業990万3356円、ひとり親家庭等医療費助成2073万2416円、この実績内容と成果は。
答 ひとり親家庭等生活向上事業は、子どもの学習支援事業の実施で対象者は31名であった。コロナウイルスに係る消耗品と衛生用品及び委託料を支出した。ひとり親家庭等医療費助成は、助成件数が6322件であった。

問 民生委員の欠員の状況はどうか。
答 欠員25名。木下・小林地区が2名。大森・永治地区が1名。船穂・草深地区が7名。ニュータウン中央北地区が3名、南地区7名、印旛地区は欠員は無く、本埜地区は4名。主任児童委員1名の欠員はニュータウン中央南地区。



問 図書館の電子書籍の貸し出し件数と選書は。
答 1395冊で利用者は658人。コロナ禍ということもあり、おうち時間を意識した選書をした。音声付き昔話の紙芝居や、料理や健康に関する本、幅広い分野で選んだ。



問 共同溝管理事業での不用額となつている8800万円の理由が執行見合わせとあるが内容は何か。
答 共同溝内の監視システムの部品交換工事を見込んでいたが、半導体不足のため執行を見合わせた。



国民健康保険特別会計

問 加入者の年収別世帯数は把握されているか。
答 所得なし（未申告を含む）が3110世帯、100万円未満が2892世帯、100万円以上200万円未満が3130世帯、200万円以上500万円未満が2807世帯、500万円以上が569世帯、計1万2508世帯。加入世帯は年々増加している。

水道事業会計

問 修繕費と委託料の増額の理由は何か。
答 経営改善の見直しをする経営戦略の策定の業務委託が大きな要因。市内に市営水道の他、県営水道、長門川水道企業団があり、料金差が大きくならないよう料金単価の設定をしている。



我が市政を問う



一般質問

定例会では、9月2日から9月8日に会派代表質問・個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここではその一部を掲載いたします。

この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

会派代表質問



- 1. 至 誠 (藤代 武雄) P7
- 2. 創 進 (増田 葉子) P8
- 3. 響(ひびき) (梶原 友雄) P9
- 4. 新 政 (板橋 睦) P10
- 5. 公 明 党 (浅沼 美弥子) P11
- 6. 日本共産党 (伊藤 真一) P12

個人質問



- 1. 松本 有利子 P13
- 2. 柿原 健一 P13
- 3. 近藤 瑞枝 P14
- 4. 藤江 研一 P14
- 5. 軍司 俊紀 P15
- 6. 小川 利彦 P15
- 7. 海老原 作一 P16
- 8. 稲葉 健 P16
- 9. 櫻井 正夫 P17
- 10. 米井 重行 P17
- 11. 山田 喜代子 P18
- 12. 松尾 榮子 P18

上記の二次元コードを読みとると、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます

問 農業振興の新長期計画の必要性

答 既存の構想を見直していく予定

「至誠」藤代 武雄 議員



印旛沼と田園を望む新たな観光拠点からの風景

質問1 農業振興に向けた長期計画の策定方針は。

市長 「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」を策定している。

再質問 同構想は平成26年度の農業の目指す姿を長期計画としてまとめようか。

環境経済部長 県の方針改定に即し構想を見直す予定。

質問2 豊かな自然や文化等を活かした観光政策の考えは。

市長 本市には豊かな自然や先人が残した貴重な伝統文化などの魅力的な観光資源が多数ある。こうした資源などを活かした資源などを活かした、賑わいの創出や地域の活性化を図る。

再質問 市の観光政策は、目的や対象者が不明確な印象。私が見たい方が、趣味のサイクリング中に見つけた印旛沼の絶景を楽しめる場所を気に入り、そこに自宅とパーベキュー兼キャンプ場を建て移住された。こうした観光を契機にして移住定住に繋げるということも目的に考えられる。市内観光業が目指すにぎわいの創出、地域活性化の具体的な内容は。

環境経済部長 具体的な取組

として、木下駅南口の「(仮称)にぎわい広場」の整備完了後には、観光協会や商工会などと連携を図り、にぎわい創出や地域活性化に繋がる活用を図りたい。

質問3 地域差のない均衡あるまちづくりに向け、空き家や空き地活用の今後の取り組みは。

市長 引き続き空き家バンクを活用するとともに、空き家が除去された跡地有効活用も、他市事例を参考に検討する。

再質問 ある政令市では、市街化調整区域の人口減少に対応として、里山移住と銘打ち、専用のインターネットページを設け、同ページで里山移住に必要なすべての情報が手に入ると聞く。空き地の活用に向けた他自治体の事例調査に際し、具体的な検討の視点及び期限を問う。

総務部長 空き地に関しても空き家バンクへの登録条件などを検討する。



会議録をインターネットで閲覧できます。

問 学校の適正規模化の目的は

答 教育理念を実現するためだ

「創進」 増田 葉子 議員

質問 学校の小規模化と大規模化が同時進行している状況から、教育委員会は「学校適正規模・適正配置基本方針」を策定し取り組んできたが、現状は想定を超えて大規模化が進行し、来年度からは、方針策定時には採用しなかった小規模特認校制度を導入するなど、当初の方針が迷走していると感じる。メリット・デメリットの議論ばかりで適正規模化の将来像がどう描かれているのか誰にも伝わっていない。現在策定中の第二次方針では、何を検討していくつもりなのか。

学級など学校教育の環境が大きく変化しており、それらを考慮し検討している。

再質問 第二次方針では学区の自由化、学校選択制は議論されるのか。

答弁 通学区の見直し、学校選択制の導入、義務教育学校を含めた統合の3手法を検討していく。

再質問 そもそも何のために学校規模の適正化に取り組んでいるのか。

答弁 教育振興基本計画の基本理念「だれもが輝き、ともにばたく」を実現するためである。

再質問 「ともにばたく」

いる。適正規模化を目的に大規模校と小規模校をあえてセットにしている。印西市でいえば、小倉台小と学区が隣接する船穂小、原小と船穂小、牧の原小と木下小などとなる。そのセット校の間でスクールバスを運行しないか。

答弁 通学距離が遠距離となる場合は検討する必要があるが、学区の弾力運用、スクールバスの運行は考えていない。



教室が足りない——想定を超えて大規模化する原小学校

問 こども家庭庁の設置について

答 子どもの最善の利益を第一に

「響」 梶原 友雄 議員



質問1 こども家庭庁の設置によって、市の体制はどのようになるのか。

市長 こども家庭庁は、常に子どもの最善の利益を第一に考え、子どもに関する取り組み、政策を社会の真ん中に据えて、子どもの視点で、子どもを取り巻くあらゆる環境を

市長 生活基盤が脆弱な家庭に暮らす子どもたちを助けるには、支援を必要とする家庭を必要な支援に結びつけることが、大変重要と考えるので、今後も継続して関係機関と連携した支援体制の強化をすすめる。

質問3 子どもを安心して産

視野に入れ、権利を保証し、誰一人取り残さず、健全な成長を社会全体で後押しするため、政策の司令塔として、令和5年4月1日に創設される予定である。

この趣旨に基づき、政策の立案や支援のための総合調整などを行う体制が必要であると考えている。

質問2 生活基盤が脆弱な家庭に暮らす子どもたちを助けるためにはどうするの。

み育てる環境整備はどうするのか。

市長 子ども政策の推進にかかる有識者会議の報告によると、子どもを産み育てる不安や障壁の一つとして、妊娠、出産に関する情報や相談支援の不足があるとされている。このことから、妊娠、出産に関する正しい情報を得る機会や産前産後から子育て期を通じて切れ目ない支援を行うため、情報発信の改善や子育て世代包括支援センター及び子育て支援拠点での相談支援を充実させている。

質問4 少子化問題の改善はどうするのか。

市長 令和3年に生まれた子どもは、過去最少を記録し、少子化は加速化しているのが現状である。この状況を食い止めるためにも、子ども政策を協力的に推進する「子ども家庭庁」が創設されると考えているので、市としても国の基本理念や施策に沿って少子化問題に対応して行く考えである。



問 牧の原駅北側に公共施設の整備は

答 集約を前提に検討する

「新政」板橋睦議員

質問1 牧の原駅北側への公共施設の必要性について。

市長 市全域の公共施設の配置を含めた整備の考え方を示す印西市公共施設整備基本方針の策定を進めている。その中で各駅圏、地域生活拠点の公共施設の将来的な配置方針を示す予定である。

牧の原駅の北側については公共施設の老朽化の状況を踏まえ、駅北側の公共施設の集約を前提に用地取得も含めた新規施設の必要性を検討する。
再質問 現在策定中の印西市公共施設整備基本方針は今後どのようなスケジュールで策定を進め、いつ決定するのか。

答弁 10月中旬に市民意見公募手続きを行い、年内中に策定したいと考えている。

再質問 牧の原駅北側の公共施設には、滝野地区の公共施設も含まれているのか。

答弁 滝野地区も含んでいる。再質問 用地取得についてはどのように考えているのか。

答弁 用地取得が必要となった場合には施設の規模や利便性を考慮して、適切な用地を選定しなければと考えている。

質問2 印旛日医大地区への公共施設の必要性について。
市長 現在の施設の配置を基本とし、印旛医科器械歴史資料館のあり方を検討し、ふれ

あいセンターいんばの施設の複合化工事により、利便性の向上及び運営の効率化等を図り必要に応じて検討を行う。

再質問 当該歴史資料館が移転となった場合、跡地に公共施設を整備する考えはないか。

答弁 移転検討に当たっては施設の活用についても検討を行うこととしている。

質問3 学校運動部活動の地域移行の本年度の取り組みで「部

活動地域移行推進協議会」が設置されるが、人選はどのように考えているのか。

教育長 学識経験者や印西市のスポーツ協会等の代表、中学校長代表、総合コーディネーター、保護者代表等への委嘱を検討している。

再質問 協議会の第1回会議はいつ開催されるのか。

答弁 令和5年5月頃を目途に開催したいと考えている。



牧の原駅北側への公共施設の必要性は

問 平和条例等の策定は

答 市民の機運の高まりが重要

「公明党」浅沼 美弥子 議員



戦争遺跡：飛行機を隠す掩体壕（えんたいごう）

質問1 平和事業・教育の取り組みに関し、①日本非核宣言自治体協議会不参加の理由、②ピースフォトコンテストの開催、③戦争被害の資料、戦跡、体験談の収集状況、④慰霊碑の把握状況・マップ化、⑤被爆地への市民派遣事業、⑥平和条例、財源確保のための平和基金等の創設を伺う。

市内に26基の慰霊碑があり、管理者や慰霊碑の状況把握はしているが、マップ化はしていない。
総務部長 ⑤は、被爆地での学びは大変有意義と認識。時期も含め、意義や効果について考えている。
市長 ⑥は、平和条例の制定及び平和基金の創設については、市民の皆様の高ま

総務部長 ①は、加入により受けられる事業と同種事業を市がすでに実施しているため。
②は、提案として、平和啓発事業の参考としていく。
教育部長 ③は、戦争被害の歴史資料はないが、戦争遺跡として掩体壕が保存されているほか、草深地区に当時所在した印旛地方航空機乗員養成所関係者の体験談を収集している。

りが重要であると考えている。今後とも引きつづき平和啓発活動を実施し、平和の大切さを呼びかけていきたい。

質問2 我が国の熱中症による死者数は、2018年から3年連続で1000人を超え、毎年4〜5万人が救急搬送されるなど増加傾向が続いている。気候変動の影響から、今後も熱中症から住民の命を守る対策は大変重要と考える。そこで、熱中症対策プロジェクト等を設置し、多角的な猛暑対策・熱中症予防事業計画を策定するなど、熱中症ゼロのまちを目指してはどうか。

市長 熱中症は、市民の生命に直結する大変深刻な問題である。地球温暖化に伴いリスクの上昇が予測される。印西市地球気候変動適応計画を踏まえ、関係部署が連携して熱中症対策を講じていきたい。紹介のあった他地区の事例も参考に、より一層の対策に取り組む。



問 物価高騰による農家の救済措置を

答 令和5年度の実施に向けて検討中

「日本共産党」伊藤真一議員



物価高騰に悩む農家

質問1 物価高騰による農家負担の救済について、今後どのような負担軽減の対応を考えているのかを伺う。

市長 令和4年7月に国が「肥料価格高騰対策事業」を実施することが発表されたので、具体的な事業内容が示され次第、周知を図っていく。また、市独自の新たな支援策についても、令和5年度の実施に向けて検討している。

再質問 水稲でいえ

ば、軽油、石油は前年比で20円、畑作では肥料代が物により15%から20%増、マルチと呼ばれるビニールシートで20%増となっている。国や県から示されるのを待たずに、すぐに市独自の支援対策をすべきではないのか。

環境経済部長 国の事業の動向を注視しながら、市独自の支援策を検討していく。

質問2 今後、病気治療（透析治療）のため、井戸水を使用せずに水道を必要とする家庭への工事負担について、市として補助すべきではないのか。

市長 水道事業は公営企業で

あり、特定の事案に対し助成することは難しい。

再質問 障がい福祉の観点からの考えを伺う。

福祉部長 現時点では補助は考えていないが、近隣自治体の動向を注視して今後考えていく。

再質問 近隣自治体の動向を注視するのではなく、印西市が先頭に立って実施すべきではないのかを伺う。

答弁 そのような方が必要とすることであれば、今後検討していく。

質問3 PCR検査負担軽減措置の考えについて、市の見解を伺う。

市長 9月1日から千葉県が感染を不安に思う方への無料検査事業を実施していることから、市独自の助成については、現在検討していない。

再質問 白井市では3000円で、県の事業終了後も行っているが、印西市でも積極的に負担軽減すべきではないのか伺う。

健康子ども部長 県の事業を注視して考えていく。

個人質問

問 トラックステーション開設可能か

答 トラック協会に状況の認識伺う

松本有利子議員

質問1 市内の道路に停まっているトラック等の大型車についての状況は。

都市建設部長 国、県道や市道の一部で見受けられる。

再質問 市の対応策は。

答弁 印西警察署に指導、取り締まりを要望、相談するとともに、必要に応じて注意喚起看板を設置している。

再質問 看板を設置した主要地方道船橋印西線の合流地点を確認したが、効果があるように感じた。同時に看板横に数台のトラックを確認したが、そこは駐停車禁止の場所か。



合流地点の注意喚起の看板

答弁 駐停車禁止となっていない。

再質問 通報もあることから駐停車禁止の場所とするよう警察署へ要請できないか。

答弁 道路管理者と協議し検討する。

再質問 市内に物流センターができてメリットのある反面ドライバーの休憩場所がなくトラック等駐停車の問題がでている。トラック協会にトラックステーション設置を要望できないか。

環境経済部長 まずは市内の状況についてどのような認識であるか等、伺ってみたい。

再質問 トラックステーションは減少傾向にあり設置が難しいかもしれない。市の事業としてトラックが止められる場所を確保できないか。

都市建設部長 道路事業として行うことは考えていない。

個人質問

問 木下・日医大間バスを小林経由に

答 現状の六合路線バスの増便を検討

柿原健一議員

質問 現在、日本医科大学千葉北総病院（以下「日医大」）の運営で木下駅と日医大間に白ナンバーバスが一日当り13往復の運行を行っている。白ナンバーバスは、運賃無料を前提で路線と停車場は、運行者に任されている。小林地区の有志が直接日医大にこのバスを小林経由にして欲しいと請願しているが、進展がない。日医大と印西市が現状の白ナンバーを小林経由とすることについて協議をすることは、将来の安定輸送の観点から必要と思われるが、考えは。

企画財政部長 市としては、六合路線を廃線とせぬよう、補助金を交付している状況である。白ナンバーバスについて日医大と現時点で協議する考えはない。

再質問 市の担当部署が、補助金の効果的な活用手段として、既存の交通網を持つ日医

大と協力関係を結ぶことで、早急な改善の可能性があるはずの策を否定するのはなぜか、案の一つとして、比較検討する価値もないと考えるのか。

答弁 市としては、六合路線の廃線を防ぐ意味で、補助金を交付している。並走する白ナンバーバスについての検討は、妥当性を欠くものと考えている。しかし六合路線の利便性の向上については、その増便を検討したいと考えている。



小林駅-日医大-京成佐倉駅の六合路線バス

問 生理用品の全校トイレ設置はいつ

答 2学期中に全小中学校で開始する

近藤瑞枝議員

個人質問

質問1 モデル校として牧の原小学校・滝野中学校を選定し、令和4年4月から7月20日まで非対面式生理用品設置の実証実験が実施された。実験結果を問う。

教育部長 女子児童生徒の16%が、学校生活の中で生理用品が手元になくて困った経験があり、67%が、保健室以外のトイレ等にも設置されていると安心して学校生活を過ごせると考えていることがわかった。モデル校の養護教諭からも、過度の負担になることなく実施できると感じたという。



Shake Handsが無償生理用品を設置・補充している施設

再質問 この結果をどう評価・分析したか。

答弁 保健室での対面式より多くの利用があり、一定の需要があることがわかった。従来の保健室での提供とともに、生理用品を必要とする児童生徒が気兼ねなく利用できる提供方法の必要性を認識した。

再質問 市内小中学校での取り組みについて、どう検討したか。

答弁 準備ができ次第、市内全小中学校において、小学校4年生から中学校3年生までが主に使用するトイレに生理用品を設置する。

再質問 開始の時期はいつになるか。

答弁 9月の校長会議と教頭会議において趣旨を説明し、2学期中には全小中学校で一斉に開始する。

問 物価高騰対策に市民の声を

答 調査を踏まえ実施を検討したい

軍司俊紀議員

個人質問

質問1 コロナ禍における物価高騰対策について市民の声を聴いているのか。

企画財政部長 実施中の市民満足度・重要度調査で質問事項として新型コロナウイルス感染症に対する必要な支援策についての項目を盛り込んでいる。調査結果から必要な支援策等の実施を検討したい。

再質問 大学や専門学校に通っている方に対し、授業料の減免に関する支援をすべきではないか。

答弁 多種多様のきめ細やかな



授業料の減免に関わる支援を

な市民支援策の必要性について認識している。スピード感を持った支援策の結果として、物価高騰対策臨時特別給付金事業を行うこととした。

再質問 事業者支援として、将来につながる投資としての再生エネルギーの導入に向けた支援をすべきではないか。

答弁 県で中小企業者等の脱炭素化への取組を支援するため、再生可能エネルギーの活用等の目的で導入する設備等に対して補助金を交付している。県が実施する事業を市ホームページ等で周知したい。

質問2 人生百年時代にむけて健康長寿のためにフレイル予防が重要である。フレイル予防として「eスポーツ」を取り入れるべきではないか。

健康福祉部長 現時点では予定はないが、介護予防の効果検証が進められているので情報把握をするよう努める。

問 若年層へのワクチン接種促進は

答 予約なし接種の実施日を増やす

藤江研一議員

個人質問

質問1 若年層へのワクチン接種促進の取り組みは。

市長 事前予約なしでのワクチン接種を令和4年8月10日、27日に実施した。

再質問 今後の取り組みは。

健康子ども部長 今後も実施日を増やすなど取り組み。質問2 線状降水帯発生時の対応マニュアルは。

総務部長 8月に「避難指示等の判断・伝達マニュアル」及び「職員災害時初動マニュアル」を作成した。

再質問 これらの事態発生を想定した訓練は。

総務部長 台風や大雨による浸水被害を想定した訓練の、令和5年度実施を検討する。質問3 リトルベビーハンドブックの当市での現状は。



市役所本庁舎男性用個室トイレに設置。がん患者等の利用を想定。

質問4 小中学生のタブレットによる悩み相談は。

教育長 タブレットによる相談を受け付けることも可能なので進めていきたい。

質問5 最低賃金が984円になった場合に、市と雇用契約を結んでいる方に問題は生じないか。

総務部長 会計年度任用職員報酬時間給を4年10月1日から40円引き上げる一般会計補正予算案を上げした。

質問6 男性用サニタリーボックスの当市での設置は。

総務部長 設置を検討したい。

問 物価高騰対策の新たな支援策は

答 令和5年度実施に向け検討中

小川利彦議員

個人質問

質問1 肥料価格高騰対策は。

環境経済部長 事業内容が国や県から示され次第、各農家へ事業の周知をする。

再質問 燃料費や肥料価格の高騰など、農業経営は厳しい状況であり、新たな支援事業を実施する考えはないか。

市長 農業経営は厳しい状況に直面しており、農家の活力になればと新たな支援策を、令和5年度の実施に向けて検討するよう担当課に指示した。

質問2 公共交通の現状と課題は。

企画財政部長 スワン号は、新たな運行方法の導入を検討し、ふれあいバスについては、遅延対策としてのダイヤ改正及びバスの位置情報システムの導入を検討している。

再質問 行政の公共交通とは。答弁 官民を問わず、公共交通機関の役割を明確化し、安全で利便性が高く、かつ効率



収穫の秋ですが内心は…。

問 デキシー跡地に民間活用を

個人質問

答 民間活用等も検討したい
海老原作一議員

質問1 木下駅南口公共用地活用に公募設置管理制度を導入するため土地の一部を都市公園として活用できないか。
都市建設部長 都市公園法の制限等が生じる都市公園は適さないと考えている。

再質問 公募設置管理制度に限らず、民間活力の活用は。

企画財政部長 官民連携による民間活用等も検討したい。

質問2 利用者の評価が高く、設置自治体が急増している死亡手続きの総合窓口である「おくやみコーナー」設置



公募設置管理制度により活用された盛岡市の木伏緑地0.4ha

への取り組みは。

市長 第6次印西市行政改革実施計画における窓口ワンストップサービスの構築のため、調査研究を進めている。遺族の必要な手続きについて、時間的、精神的負担を軽減できるように、併せて検討する。

質問3 ごみの減量対策における有価物集団回収について、学校が主体となり取り組んでいるケースが少ないという点だが、持続可能な社会を構築していくという教育的観点から、これよりのか。

教育部長 教育的観点から、学校がSDGsをより意識し推進するよう働きかける。

再質問 事業の持続可能性という観点から、回収品目一律の奨励金に合理性がないのでは。
環境経済部長 団体数の維持と回収業者の確保が重要で、奨励金のあり方の情報を収集していく。

問 既存の二間道路拡幅を望む

個人質問

答 道路拡幅は整備手法を検討する
櫻井正夫議員

質問 市道とは、国道・県道以外のすべてなのか伺う。

都市建設部長 市が管理する道路は、道路法による道路として認定された市道のほか、法定外公共物として道路法の適用を受けない道路である。

再質問 私有地に道路を施工する場合に、砂利道、アスファルト舗装、また、幅員等の規定はないのか伺う。

答弁 私道については、行政指導する規定はない。

再質問 4メートルの幅員が



狭い道路の幅員を

なければその道路の前後に建築物は建たないとのことだが、二間道路の指導もあると聞いた。そこに新築住宅は建設可能か伺う。

答弁 二間道路でも、建築基準法42条第2項に規定された道路がいわゆる2項道路である。この道路は2メートル以上接し、道路中心線から2メートルセットバックした敷地で、他の法令の基準を満たしていれば新築住宅の建設は可能である。

再質問 土地を1メートル提供するので道路を広げてほしいという地権者がいる。これについて市の考えを伺う。

答弁 幹線道路の整備は、交付金を活用している。近年、交付金の分配が要望額を下回っており、財源確保が難しい状況であるが順次着手していく。道路拡幅の要望は、整備手法を検討していく。

問 図書館の指定管理者制度について

個人質問

答 図書館協議会に諮問する
稲葉健議員

質問1 図書館6館全体で正規職員、再任用職員、任期付職員、会計年度職員で合計73名、司書が32名で運営しているがここ数年司書の正規職員の採用がない。図書館6館全体的にも司書人数が不足しているのではと考えるがどうか。

教育部長 図書館サービス向上には、司書の役割が非常に重要なことから、司書資格を持つ任期付職員や会計年度職員の採用で対応している。

再質問 なぜ正規職員の採用を行っていないのか、正規職員の採用をするべきでは。

答弁 図書館サービスの充実を図るため図書館サービス計画等を策定中であり、その中で司書の役割を明確にしていきたい。

質問2 令和2年3月策定の「公共施設適正配置アクションプラン」の対策内容に、「大森図書館・小倉台図書館は、



指定管理者制度を問われている大森図書館

大規模改修終了後に指定管理者制度の導入を進める」とあるがどうか。

教育部長 図書館における指定管理者制度については、現在、調査・研究中であり、図書館協議会の意見も伺いながら、検討する。

再質問 図書館協議会の意見も伺いながらとは、指定管理者制度について再度諮問するということか。

答弁 令和4年度中に図書館協議会に諮問したいと考えている。

問 小規模特認校制度の広報は

個人質問

答 広報いんざい等で周知したい
米井重行議員

質問 船穂小学校であるが、把握している情報だと新規就学予定児童は11名である。制度の利用数はどうか伺う。

教育部長 令和4年度は小規模特認校制度を利用した就学者は7人、その他の学区外就学で4人、計11人である。

再質問 11名、数字は小さいが船穂小学校にしてみると、凄いい児童の増加である。40%越えである。小規模特認校制度の上々のスタートと思う。

定期的な広報があつてこそ小規模特認校制度の情報が周知されると思う。今後も定期的な広報をするか考えを伺う。

答弁 市ホームページ等で周知したいと考えている。

再質問 小規模特認校の導入を決めたのに、児童・生徒の送迎を、将来的にも保護者任せにするのか。やはり、その学校を希望する多くの児童・生徒が通う事のできる方策を

今後検討してほしい。市内全域が無理ならば、隣接する大規模校から小規模特認校へ通学を希望する児童生徒のために、スクールバスを運行できないのか。など、小規模特認校の特色をさらに高め、小規模特認校を希望する児童・生徒が通学しやすい環境づくりを検討して、学校の特色や活動を紹介、小規模特認校利用者の声や、第三者の声を広報に盛り込んでほしい。

答弁 他自治体の事例等を参考に、研究したいと考える。



船穂小学校150周年記念事業

各常任委員会の審査

印西市議会では、すべての議案を委員会に付託し審査することを原則としています。9月20日に総務企画常任委員会、9月2日及び21日に文教福祉常任委員会、9月22日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催しました。委員会で行われた議案に対する主な質疑及びその答弁の一部を掲載します。

総務企画常任委員会



育休をとって子育てをガンバっているお父さん

職員が育児休業を取得しやすい環境づくりに

【議案第1号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を一層容易にするため、非常勤職員

問 今回改正により、育児休業が原則1回だったものが、2回に分けて取得できるようになった。産後パパ育休という制度があり、こちらは1回の取得だったものが、2回に分けて取得できるようになる。

答 非常勤職員の子どもが1歳以降の場合

問 回数制限の緩和ということだが、具体的に何回取得可能になるのか、また、どう取得できるようにするのか。

答 今回の改正により、育児休業が原則1回だったものが、2回に分けて取得できるようになった。産後パパ育休という制度があり、こちらは1回の取得だったものが、2回に分けて取得できるようになる。

問 育児休業の取得要件の柔軟化、育児休業を取得しやすい環境の整備など、所要の改正を行うもの。

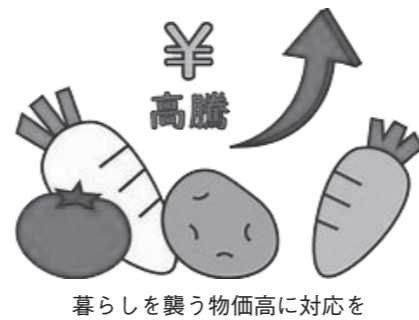
答 育児休業の取得要件の柔軟化、育児休業を取得しやすい環境の整備など、所要の改正を行うもの。

問 育児休業の取得要件の柔軟化、育児休業を取得しやすい環境の整備など、所要の改正を行うもの。

答 今回の改正により、育児休業が原則1回だったものが、2回に分けて取得できるようになった。産後パパ育休という制度があり、こちらは1回の取得だったものが、2回に分けて取得できるようになる。

【審査結果】

番号	件名	結果
議案第1号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第10号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	可決



暮らしを襲う物価高に対応を

質問1 物価高から暮らしをどう守るか。物価高騰の背景にはコロナ禍、ウクライナ情勢など世界的な状況がある。しかし原因は岸田政権と日銀がすすめる「異次元の金融緩和」による円安誘導計画が大もとにある。生活保護世帯に夏季加算支給の考えはないか。また、船橋市はお米券(10キログラム)の配布、袖ヶ浦市は子育て世帯に5キログラムを米を届けるなど支援している。市として生活困窮者へ支援する考えはないか。

福祉部長 考えはない。

質問2 学校の安全をどう守るのか。文科省は学校設備の総点検を全国の教育委員会に通知した。市内の学校設備は安全か。教師が点検しているとのことだが、負担軽減のため、シルバー人材センターや町内会に委託する考えはないか。

教育部長 教職員による自己点検が望ましい。

質問3 税の公平・適正な課税を。住宅用地に対する軽減措置等の漏れ、土地の現況用途、利用状況の漏れ、既に減失された家屋に対する課税、航空写真により補足されている大量の不明物件、死亡者課税の現状等々の課題に対し課題解決の方法と制度運営に関してどう対処するのか。

市民部長 今後、課題を精査し事務の効率化について検討を行いたいと考えている。

質問1 環境施策を進めるには、まず市民が市内の豊かな自然や動植物に身近にふれ、この素晴らしい環境を守り次世代に残したいと実感してもらうことが大切。印西市で唯一の市民の森「草深の森」で、以前から質問しているトイレはいつ整備するのか。

市長 早急な整備への取り組みを指示している。

再質問 竹袋「ふれあいの小径」や永治「大六天」等も市民の森として活用しては。

環境経済部長 まずは草深の森の充実に取り組み、市民の森のさらなる活用を進める。

質問2 ふれあいのバスルート見直し・再編について。千葉ニュータウン中央駅南側エリアの検討状況は。

企画財政部長 令和7年度を目途にルート見直しを進める予定である。

再質問 大塚3丁目入口周辺



印西市の市民の森「草深の森」

へのバス停の追加はどうか。

答 住環境も変化しており、令和5年度のルート再編時に追加したいと考えている。

再質問 フレンドリープラザ前バス停が地元の要望により少し広く安全なところへ移動になった。同バス停は木刈地区の医療区のそばにある。高齢化が進む地区住民や医院へ通う市民のため、同バス停にベンチを設置できないか。

答 医療区の条件に該当することから、令和5年度当初予算での対応を考えている。

個人質問

問 物価高から市民の暮らしを守れ

答 適切な施策を講じて参りたい

山田喜代子議員

個人質問

問 「草深の森」活用へトイレ整備は

答 早急な整備を指示している

松尾榮子議員

小林コミュニティプラザ 保全改修工事へ

【議案第12号 工事請負契約の締結】

【内容】印西市小林コミュニティプラザ保全改修工事のための工事請負契約を締結（3億2670万円）。工期は契約締結後令和5年8月31日まで。

問 図書館はどのような工事を予定されているのか。

答 照明設備・空調設備の更新。開閉式窓・防犯カメラの設置。レイアウト変更等。

問 長期間閉館することになるが利用者への周知はどのように行なっているか。

答 令和3年度に利用期間中の活動に係るアンケートを実施。令和4年度は、総会や会議等で知らせている。

【議案第7号 印西市高齢者就労支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】高齢者就労支援センターの移転に伴う位置の改正及び指定管理者を指定できない場合において、市長による管理の規定を追加。

問 移転先の交通の便の検討は。

答 議論はしたが、施設の有効活用のため旧永治小学校を使う事にした。

問 令和5年9月30日以降の指定管理者の選定スケジュールはどのようなのか。

答 令和4年10月頃に公募の開始を行い、令和5年1月頃に指定管理者候補者を決定し、令和5年第1回定例会に議案を提出する予定で準備している。



改修工事を行う小林コミュニティプラザ

【審査結果】

番号	件名	結果
議案第2号	印西市高齢者就労支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第7号	工事請負契約の締結（高齢者就労支援センター改修工事）	可決
議案第8号	工事請負契約の締結（内野保育園大規模改修工事）	可決
議案第11号	工事請負契約の締結（高花小学校保全改修工事）	可決
議案第12号	工事請負契約の締結（小林コミュニティプラザ保全改修工事）	可決
請願第4-1号	「国における2023年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択すべきもの
請願第4-2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択すべきもの

建設経済常任委員会

松山下公園陸上競技場 屋外観覧場を改修

【議案第3号 印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴うもの。

問 手数料条例の改正に
関係する法改正が、建築基準法だけなのか。

答 手数料条例の改正に
関係する法改正が建築基準法のみである。

問 権限移譲による事務
の簡素化と事務処理軽減等の影響は。

答 条例の項番号のずれ
のみであるので、仮設

建築物の許可手続については従前のまま変わらないため、影響はない。

【議案第9号 工事請負契約の締結】

【内容】松山下公園陸上競技場屋外観覧場保全改修工事。

問 陸上競技場を使用する
場合の影響について
伺う。



改修工事が行われる観客席

答 安全対策の上で陸上
競技場の使用も休止す
る。

問 色々な機材や搬入車
が入るが、周りの施設
を利用する人に対する配慮に
ついて伺う。

答 工事区域をガードフ
ェンス等で閉鎖をし、
看板等により注意喚起を行う
予定である。

問 建築工事の外壁と防
水塗装において、塗装
についてはどのような色彩を
使うのか。アスリートファ
ーストで考えたときに、どのよ
うな色彩、色合いでまとめ
るのか。太陽光に反射しない塗
装にするなどの、要望が出て
設計に反映されたものはある
のか。

答 色彩は、景観条例等
もあるため、現状と同
じ色と考えている。

【審査結果】

番号	件名	結果
議案第3号	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第9号	工事請負契約の締結（松山下公園陸上競技場屋外観覧場保全改修工事）	可決

令和4年第3回定例会 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥(※地方自治法の定めにより本人等が関係する議案の採決に加われません。)、
—=その他 ※議長(中澤 俊介)は採決に加わりません。

番号	件名	議決結果	中澤俊介	山田喜代子	板橋睦	金丸和史	軍司俊紀	松尾榮子	増田葉子	藤代武雄	近藤瑞枝	海老原成一	岩崎成子	浅沼美弥子	櫻井正夫	米井重行	小川利彦	稲葉健	伊藤真一	松本有利子	藤江研一	梶原友雄	柿原健一	
《請願》																								
請願第4-1号	「国における2023年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4-2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

番号	件名	議決結果	中澤俊介	山田喜代子	板橋睦	金丸和史	軍司俊紀	松尾榮子	増田葉子	藤代武雄	近藤瑞枝	海老原成一	岩崎成子	浅沼美弥子	櫻井正夫	米井重行	小川利彦	稲葉健	伊藤真一	松本有利子	藤江研一	梶原友雄	柿原健一	
《議案》(市長提出議案)																								
議案第7号	工事請負契約の締結(高齢者就労支援センター改修工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	令和3年度印西市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和3年度印西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和3年度印西市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和3年度印西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
《議案》(委員会提出議案)																								
発委案第1号	国における2023年度教育予算拡充に関する意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委案第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

請願
 第4-1号 ▼「国における2023年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書
 第4-2号 ▼「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

陳情
 第4-5号 ▼中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情
 第4-6号 ▼新型コロナウイルス感染症「第7波」から市民のいのちを守る陳情
 第4-7号 ▼安倍元首相の国葬に反対し撤回を求める意見書提出に関する陳情
 第4-8号 ▼市政・市議会と旧統一教会の関係を調査することを求める陳情

令和4年第3回定例会 全会一致(可決・認定・同意・適任)議案一覧

番号	件名
《議案》(市長提出議案)	
議案第1号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第2号	印西市高齢者就労支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第3号	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定
議案第4号	令和4年度印西市一般会計補正予算(第4号)
議案第5号	令和4年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
議案第6号	令和4年度印西市介護保険特別会計補正予算(第1号)
議案第8号	工事請負契約の締結(内野保育園大規模改修工事)
議案第9号	工事請負契約の締結(松山下公園陸上競技場屋外観覧場保全改修工事)
議案第10号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議
議案第11号	工事請負契約の締結(高花小学校保全改修工事)
議案第12号	工事請負契約の締結(小林コミュニティプラザ保全改修工事)
議案第13号	令和4年度印西市一般会計補正予算(第5号)
認定第5号	令和3年度印西市水道事業会計決算認定
認定第6号	令和3年度印西市下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定
同意第1号	印西市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めること(坂巻 栄一氏)
同意第2号	印西市教育委員会の教育長の任命につき同意を求めること(大木 弘氏)
同意第3号	印西市教育委員会の委員の任命につき同意を求めること(栃尾 知子氏)
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること(中嶋 加奈江氏)
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること(伊賀崎 眞理子氏)



京都府亀岡市議会 総務文教常任委員会が視察に来庁
 令和4年7月27日(水)、京都府亀岡市議会総務文教常任委員会の議員7名、事務局1名が視察のため来庁されました。視察のテーマは、「シティブロモーションプランについて」、「移住・定住促進施策について」でした。中澤議長から歓迎の挨拶、企画政策課および経済振興課から事業説明を行ったところ、印西市の取り組みについて、たくさんの質問が出されました。

編集後記
 今年の夏は、梅雨明けが早くて記録的な暑さとなりました。第3回定例会では、物価高騰対策支援事業が補正予算に計上され、十分な審査審議が行われました。9月10日は、中秋の名月でした。雲一つない澄み切った夜空にポツカリ浮かんだ月は見事でした。花瓶に、ススキ等庭に咲いている2、3種類の花をさし、月見団子、栗、他の果物を飾りました。「遠く離れて会いたい時は、月が鏡になればよいね」という歌がありますが、何百年何千年も前から人々がきれいな月を見て癒されたのでしょうか。とてもきれいな月に感動した一夜でした。(櫻井)

委員長 玉木 実
 副委員長 海老原 成一
 委員 柿原 健一
 櫻井 正夫
 伊藤 真一
 藤江 研一

『開発と保護の両立を』

印旛明誠高等学校

3年 鈴木 千夏

印西市の魅力とはどのようなものだろうかと考えたとき、開発の進んだ地域を思い浮かべる人は少なくないでしょう。商業施設や交通の便、増加する物流施設など、時間を経るごとにその利便性が増している、そのような話を幾度も耳にしますが、それと同時に、開発の推進による環境への負担、失われていく自然について言及する場面にも度々遭遇します。

開発が進むことに対して、私はさほど後ろ向きな考えは抱いていません。生活における安定性や豊かさ、それらは常に求められるものですし、印西市の誇る恵まれた立地など、それらを生かさない手はないと思うのです。だからといって、肥沃な土



地すべてを新たなものに作り替えることを推しているというわけではありません。多くの人が声高に叫ぶように、印西市が元来持っている様々なものの中には、自然保護・文化保存の観点から見て重要なものが数多くあります。それらが少しずつ数を減らしていることもまた事実です。

開発と保存を両立することは非常に難しいですが、もし成すことができたのなら、それは印西市の最大の魅力となり得るのではないのでしょうか。まずは個々人が保全への関心を持つ、それだけでも、一歩前進するように思います。

第4回定例会 会期予定及び日程

第4回定例会は、11月30日(水)から12月19日(月)までの会期予定です。

新型コロナウイルス感染拡大の状況などにより、予定が変更となる場合があります。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議会の傍聴についてはできる限りお控えいただくようお願いします。

なお、インターネットによる本会議のライブ中継及び委員会の録画中継を配信しておりますので、ご利用ください。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】
☎ 0476(33)4614

日	月	火	水	木	金	土
11/20	11/21	11/22	11/23 勤労感謝の日	11/24 議会運営委員会	11/25	11/26
11/27	11/28	11/29	11/30 本会議 (議案上程)	12/1 本会議 (個人質問)	12/2 本会議 (個人質問)	12/3
12/4	12/5 本会議 (個人質問)	12/6 本会議 (個人質問)	12/7 予算審査 常任委員会	12/8 総務企画 常任委員会	12/9 文教福祉 常任委員会	12/10
12/11	12/12 建設経済 常任委員会	12/13	12/14	12/15	12/16 議会運営 委員会 正副委員長会議	12/17
12/18	12/19 本会議 (議案の採決)	12/20	12/21	12/22	12/23	12/24